

令和4年度事業計画

〈概要〉

令和4（2022）年は、前年度の會津八一生誕140年事業として3月末刊行予定の当館所蔵品図録「會津八一名品50選」にちなんだ展覧会を春と夏に計画。また名品図録と同時期に刊行するパンフレット「會津八一の碑—新潟編—」に関連し、文学散歩として新潟市内の八一のいしぶみ巡りや、リピーターへの特典なども企画。出版とあわせた普及活動を展開していきたい。

春の企画展は「名品50選」のなかから八一の漢字と仮名の作品を、夏の企画展は手紙を中心に展示する。

秋の特別展は八一と深いつながりのある古美術写真館飛鳥園（奈良市）が創業100周年を迎えるのを記念し、「八一と飛鳥園」をテーマに両者の交流や奈良にまつわる八一の作品などを紹介する。

冬は書の形式のうち「折る、畳む」をテーマに、八一の墨蹟の中から、屏風、折帖、扇子形式の作品に焦点を当てた企画展を計画。併せて第16回写真コンテスト入賞入選作品展を開催する。

普及活動では、①會津八一祭記念トークショー②八一のいしぶみ巡り（新潟市内）③リピーターへの特典④八一往復書簡集「雁魚来往」第10集の刊行⑤館長講座の継続⑥写真コンテスト全国巡回展などを予定している。

新潟市名誉市民・會津八一の幅広い業績を伝えていくためにも、広い世代に興味関心を抱かせるような視点で企画を展開していきたい。

〈事業計画の内容〉（企画展160万円 特別展300万円）

（ア）展覧会事業 開館日数 283日

	分類	展覧会名（仮称）	会期	内容
1	企画展	新潟市會津八一記念館所蔵 『會津八一名品50選』発刊記念 「獨往の書」-漢字・かな編-	4月5日（火） ～7月3日（日） 79日間	『會津八一名品50選』のなかから《「秋舂堂」、《李白十二幅》、《おほてらの》《かすがのに》などの漢字とかな作品を展示し、八一の「獨往」の書を紹介する。
2	企画展	新潟市會津八一記念館所蔵 『會津八一名品50選』発刊記念 「獨往の書」-八一の手紙編-	7月12日（火） ～9月25日（日） 66日間	『會津八一名品50選』のなかから八一の手紙《與奥田勝書》《歌を詠むには》《中田瑞穂宛書簡》をはじめ、日常の伝達から、作品として意識して記した書簡まで一堂に展示。卓越した文章力、多岐にわたる内容、筆跡の美しさなど八一の手紙の特色を紹介する。
3	特別展	飛鳥園創業100年 仏像の美—奈良と會津八一	10月4日（火） ～12月11日（日） 60日間	2022年は奈良の古美術写真の専門店・飛鳥園創業100年にあたる。そこで、飛鳥園と八一の交流や、奈良にまつわる作品を紹介したい。当館関係では2010年に小川晴暘（新潟市美）、2018年に小川光三の写真を展示しているが、関連で八一の奈良歌の書も展示できる。
4	企画展	折って広がる美の世界—屏風・折帖・扇子を中心に— 同時開催 第16回會津八一の歌を映す写真コンテスト入賞入選作品展	12月20日（火）～ 令和5年3月26日（日） 78日間	屏風、折帖、扇子はいずれも折ってたためる形式ではあるが、広げると折れた場面ごとの展開が繰り広げられ、大作となる。展覧会では収蔵品を中心に、軸装や額作品の一つの面で見せるものとは異なる場面展開の妙を紹介したい。

展示替えのための休館日	7/4～7/11(8日間)、9/26～10/3(8日間)、12/12～19(8日間)		
作品解説会	企画展 期間中	月2回（第2、4日曜日）	午前11時
	特別展 期間中	毎週日曜日	午前11時

(イ) 普及活動 ※交渉予定も含む

[講演会] (120万円)

八一祭記念トークイベント 出演者：松村雄基氏（俳優、書家）、角田勝久氏（新潟大学准教授）を予定
内 容：未定
日 時：令和3年7月30（土）または31日（日）午後2時～3時半
会 場：メディアシップ 日報ホール
定 員：120名

特別展記念講演会 講 師：未定
演 題：未定
日 時：未定
会 場：メディアシップ 日報ホール
定 員：120名

春・文芸講演会 講 師：村尾誠一氏（東京外国語大学名誉教授）
演 題：未定
日 時：令和4年5月29日（日） 午後2時～3時半
会 場：メディアシップ 日報ホール
定 員：120名

夏・文芸講演会 講 師：増田孝氏（愛知東邦大学客員教授）
演 題：「八一の手紙」（仮称）
日 時：令和4年9月7日（水）
会 場：メディアシップ 日報ホール（予定）
定 員：120名

冬・文芸講演会 講 師：中野遵氏（前文部科学省教科書調査官）※交渉予定
演 題：書家の書式について（仮称）
日 時：令和5年3月（上旬）
会 場：メディアシップ 日報ホール（予定）
定 員：120名

☆[文学散歩]

會津八一のいしぶみ巡り(新潟市内) 約5km

コース:メディアシップ⇒浅川園⇒北方文化博物館分館⇒西海岸公園⇒旧會津記念館⇒會津八一生誕跡⇒瑞光寺
日にち:9月ごろ
時 間:午後1時から約3時間（會津八一記念館の展示を見てからスタート、現地解散）
定 員:20名
参加費:800円（保険料、入館料、冊子代込み）

☆[リピーターへの特典]

お楽しみスタンプカード＝特典案

有料入館1回で1個。記念館グッズお買い上げ500円ごとに1個
スタンプ5個と、スタンプ10個でそれぞれ特典あり

[出版]

八一往復書簡集「雁魚来往」第10集の刊行 (47万円)

會津八一との文化人との往復書簡の読み下し文、註釈、関連資料図版を掲載。
A4版 モノクロ 112頁 200部 定価2200円 新潟日報事業社刊

〔 講 座 〕

館長講座「書に親しむ(2)」年4回(12万円)

- 日にちとテーマ: ① 5月15日(日)「文人の書」
② 7月26日(火)「手紙の美しさ」
③ 11月15日(火)「富岡鉄斎の芸術」
④ 令和5年2月19日(日)「箱書の面白さ」

会 場: 日報ホール

定 員: 120人

参加費: 4回連続の場合: 2000円 (パンフ『會津八一の碑』新潟編 を贈呈)
単発: 500円

学習講座 (会費で充当)

會津八一の歌を読む会「かまづかの会」

講師: 若月忠信氏 (文芸評論家)

日時: 毎月第1土曜日 午後1時30分~3時

会場: 砂丘館

出前講座

4月に會津八一の作品を所蔵しているところ、あるいは団体鑑賞でよく記念館を利用している学校や公民館などに出前講座の案内を送り、依頼のあるところから実施

〔 公 募 〕

「會津八一の歌を映す」第16回秋艸道人賞写真コンテスト (265万円)

- ① 令和4年4月中 : 公募ポスターと応募要項の制作と発送
② 11月中旬: 締め切り
③ 12月上旬: 審査・結果発表
④ 令和5年2月 : 表彰式

〔 巡 回 展 〕

第15回「會津八一の歌を映す」写真コンテスト巡回展

奈良県	奈良県立図書情報館	4月30日 ~ 5月15日	入賞入選 30点
東京都	中村屋サロン美術館	6月8日 ~ 7月10日	入選入賞 30点
京都府	三千院	夏予定	入賞作品 7点
奈良県	いかるがホール (奈良県斑鳩町)	9月1日 ~ 9月19日	入賞作品 7点
香川県	高松市市民活動センター	10月予定	入賞入選 30点
新潟県	胎内市産業文化会館 (中条會津八一会)	11月予定	入賞入選 30点

〔 そ の 他 〕

鑑定会 春秋2回を予定 (21万円)

春の部

日時: 令和4年6月11日(土)を予定 午後1時30分~3時

会場: 會津八一記念館